

共通教育センター授業評価まとめ（平成 19 年度後期）

教職課目

1. 授業内容に対する自己評価、問題点、課題
 - ・講義のみでなく、演習や討議、プレゼンなどを取り入れた。
 - ・学生の興味や関心を高める教材配置や指導上の工夫が求められる。
 - ・「小学校での授業参観」を日程の都合上行えなかったのが反省点である。
2. 学生による授業評価結果からみた問題点・課題
 - ・教員免許の取得を目的とした学生の意欲をどう高めるかを検討したい。
 - ・開講時期が遅すぎる。
 - ・オムニバス形式の場合授業に一貫性を持たせにくい。
3. 次学期移行へ向けた取り組み（改善案）
 - ・授業の中に学生の要望や意見を取り入れていく。
 - ・学生が他者の意見を踏まえながら自分の考えをまとめることができるように、意見発表や討論などの機会を設けたい。
 - ・教育現場の現状を知るために授業参観などの機会を設けたい。
4. 受講している学生の状況に関する課題等
 - ・授業へのモチベーションが低い学生の参加意欲をどう引き出すかが課題。
 - ・レポートなどを多くした代わりに、最後まで受講した学生はかなりの好成績であった。
 - ・国会試験対策、就職活動などで精神的に追い込まれている学生のケアにも力を入れたい。
5. その他
特になし

体育

1. 授業内容に対する自己評価、問題点、課題
 - ・本学の学生の現状をよりの確に把握した指導方法を設定しなおす必要がある。
 - ・同じコマに体育実技が2つ開講されていて、後期は運動・活動の水準を実技とするのに苦労する。
2. 学生による授業評価結果からみた問題点・課題
 - ・おおむね好評で課題点・問題点は少ないようだ。
3. 次学期移行へ向けた取り組み（改善案）
 - ・担任制を導入し、教員の受け入れ学生数を現行の半分として、担当教員の種目設定能力を適切かつ妥当に発揮させる方式の導入を提案する。
 - ・ゆっくりとした丁寧な説明。学生のレディネスを的確に把握する能力。
4. 受講している学生の状況に関する課題等
 - ・男子更衣室が慢性的に不足している。
 - ・スポーツ＝エンターテイメントという現代的な価値観を持った学生が多い。どのように対応し、どのような成長を期待したらよいか、次年度に向けて画策する。

5. その他
特になし

英語

1. 授業内容に対する自己評価、問題点、課題
 - ・内容、分量、進度は適切だと思う。
 - ・学生の文保の力が予想を下回った。
 - ・西洋の昔話を題材にしたプレゼンを受講生が行ったので英語を読む力、話す力、聞く力が養われたと思う。
 - ・callシステムをフル活用した授業は、パソコンに慣れない学生はストレスを感じていたようだ。
2. 学生による授業評価結果からみた問題点・課題
 - ・「授業技術向上の改善優先項目」として「教材や板書の使い方」をあげた受講生が多かった。
 - ・できれば学生たちの授業参加の真剣度をもう少し高めたい。
3. 次学期移行へ向けた取り組み（改善案）
 - ・学生が英語を発する機会をできるだけ多く持つことができるようにしたい。
 - ・音声面（特にリスニングを強化したい）
 - ・英語を使うことが楽しいと感じる場を多く設定する。
 - ・コンピュータを活用した授業は時代のニーズに適合している。二重の学習効果があることを学生たちに繰り返し説いていきたい。
4. 受講している学生の状況に関する課題等
 - ・遅刻が多く、課題提出期限を守らない一部の学生を除けば、一般に善良で、まじめに勉強する。
 - ・あまりにも日本や世界の文化状況に無関心な人が多い。

5. その他
特になし

語学

1. 授業内容に対する自己評価、問題点、課題
 - ・授業が週1コマしか開講されていないので学生の予習や復習、及び、普段の自主学習を強く促したい。
 - ・少人数クラスを生かし、コミュニカティブ・アプローチと呼ばれる、コミュニケーション能力に重点を置いた方法で授業を進めた。
2. 学生による授業評価結果からみた問題点・課題
 - ・以前より満足度が低い。後期になり単語テストを1回おきを実施した。単語を覚える意味を自覚させるように工夫を凝らしたい。
3. 次学期移行へ向けた取り組み（改善案）
 - ・小テストを実施し、ディクテーションや作文を学生たちが行うような内容も設けたい。

・学習意欲を高めるために、毎回実施した内容をホームページに記録する方法、公開ラーニングを試みる。グーグルのグループを利用する。

4. 受講している学生の状況に関する課題等

- ・普段の自主学習・自助努力を強く求める。
- ・口頭でしっかりと大きな声で発音する積極さを身に付けること。
- ・単語テストに取り組まない学生がいる。単語を覚える必要性を説いていきたい。

5. その他

- ・週1コマで通年より週2コマで一学期講義を行う方が学習効果の向上が見込まれると思われる。
- ・語学学習に取り組むことが必要であるということを大学側が示すべき。

コンピュータ入門

1. 授業内容に対する自己評価、問題点、課題

- ・計画通りに進んだのはいいが、授業進行が早めになってしまった。

2. 学生による授業評価結果からみた問題点・課題

- ・授業を進める速度が速いと感じる学生が多く、授業が難しいと感じる学生も多い。

3. 次学期移行へ向けた取り組み（改善案）

- ・”課題等と授業内容の関係“については担当教員だけでは解決できない問題があるため、TFとの連絡を密にするようにする。
- ・授業の進行速度を調整する。

4. 受講している学生の状況に関する課題等

- ・コミュニケーション能力に不足が見られる。

5. その他

特になし

学の世界入門

1. 授業内容に対する自己評価、問題点、課題

- ・1年生をいかに議論に参加させるかが難しかった。
- ・グループワークを学生間での討論を試みたが、うまくいかなかった。
- ・おおむね良好な評価をもらった。

2. 学生による授業評価結果からみた問題点・課題

- ・ほとんどの学生がまじめに取り組んでいた。
- ・1年生にとって交誼の難易度が高く、量もやや多いと受け止められている。
- ・満足度が比較的低い。

3. 次学期移行へ向けた取り組み（改善案）

- ・授業内容、進度、難易度などに高い目標を持って臨みたい。

- ・適切な教材を与え、分かりやすい指導を行うように心がける。
- ・参加する学生の意欲を高められるような工夫、内容に関する TF へのフィードバック等。

4. 受講している学生の状況に関する課題等

- ・多くの学生が関心を示さなかった。
- ・やや積極性に欠ける学生が見受けられた。
- ・研究室への正規配属後の学生のモチベーション維持が重要。

5. その他

特になし。

問題論的アプローチ科目

1. 授業内容に対する自己評価、問題点、課題

- ・オムニバス形式で実施した。オムニバス形式は各講義の連携に問題を持つが、本講義は全体としての流れは理解されたようである。
- ・自分探しの心理学、心身医学、心理療法を中心に、心理テストを用いた様々な演習や実習を多く取り入れたため、学生にとって様々な自己発見の機会となった。
- ・肯定的な回答が多く、好評だった。

2. 学生による授業評価結果からみた問題点・課題

- ・岩手県知事のキャリア形成授業については公開され、多くの受講者が感銘を受けたようである。また各学部就職委員長の就職指導は大方の好評を得た。
- ・所属学部によって興味が大きく異なっており、全ての学生の要望に応えることは困難。
- ・受講学生の学部構成が大きく偏っている講義がある。
- ・教室が広いために板書の活用が困難。
- ・テーマが偏っているという指摘があった。

3. 次学期移行へ向けた取り組み（改善案）

- ・キャリア教育は十分意義がある。これからもよりよい講義としていくつもりである。
- ・学生主体の手や頭を使う講義を展開したい。

4. 受講している学生の状況に関する課題等

- ・注意しても私語が多い学生がいる。
- ・熱心な学生と、熱心でない学生の分化が激しい。
- ・情報リテラシー教育の充実を求める。

5. その他

特になし